

黒滝村

黒滝村が目指す子育て環境

R元. 8. 26 第2回奈良県・市町村長サミット資料

次代を担う村の宝である子どもたちが、緑と水に恵まれたふるさと黒滝を愛し、村の担い手として役割を継承し、さらに次の世代に黒滝の良さを伝えていくことができるように、家庭・地域社会・行政など、社会全体で子どもたちの豊かな心とたくましく主体的に生きる力を育み、健やかに成長していくことができる環境をつくり上げていきます。

1 基本データ <県記載>

- ・順位は県内市町村の降順
- ・カッコ書きは県全体の数値

①人口増減率（H11年4月～H30年12月・約20年間）					
増減率	順位	うち自然増減		うち社会増減	
		増減率	順位	増減率	順位
▲45.8% (▲6.2%)	35位	▲19.4% (▲2.1%)	32位	▲26.4% (▲4.1%)	37位
②合計特殊出生率			③有配偶出生率		
H20～24年（年率）	順位	対H15～19年（年率）増減	(15～49歳女性有配偶者1,000人あたりの出生数)		
			H27年	順位	
1.33 (1.29)	12位	+0.12 (+0.06)	0.0 (74.4)	37位	
④出生数（人）		⑤年少人口割合（15歳未満）			
H30年	H30年10月	順位	対25年10月増減		
3 (8,947)	5.6% (12.0%)	35位	+0.4ポイント (▲0.7ポイント)		
⑥子育て世代割合（25～44歳）					
H30年10月	順位	対25年10月増減			
12.1% (20.7%)	34位	▲3.8ポイント (▲3.8ポイント)			

2 子育て家庭の現状と支援に関する課題

- ① 保育所、延長保育や一時預かりなどの保育サービスを実施し、子育てをしながら就労する親のニーズに対応している。
- ② 幼稚園、保育所及び小学校と連携し、子育てへの不安や大変さを感じる家庭への相談体制支援の充実に努める。
- ③ ひとり親家庭等への支援としては、手当支給や医療費助成等の経済的支援とともに、自立を促進するための総合的な取り組みが必要である。

3 子育て家庭への支援に関する基本的な考え方（目指していること）

- ① 子育て家庭が、安心して子どもを生み、みんなで子育てできるよう、柔軟で総合的な支援を行なう。
- ② 施策は「子育てが楽しく安心してできるむらづくり」「次代を担う子どもの育成支援」「親子の自立を支える人の輪が広がるむらづくり」を三本柱に推進する。

4 子育て家庭への支援に関する特徴的な取組

- ① 「福祉医療制度」15歳までの子どもの医療費を無償化する。
- ② 「児童養育手当」第3子以降の養育支援として月5千円の手当を支給する。
- ③ 「祝金」子どもの出産、保育園・小学校及び中学校へ入園入学された家庭に祝金5万円を支給する。

5 多様な主体による子育て支援の取組

- ① 未就学児の父母や妊婦の不安解消及び子育て家庭同士のつながりを目的に保育士や保健師がアドバイスを行う「ひなっこキッズ」や食生活応援隊と連携し食育推進を目的とした「親子料理教室」を実施する。
- ② こども園、小学校、中学校の子どもを対象に、異年齢の子ども同士の交流や、地域の高齢者との世代間交流を実施する。また、民生委員と連携し、地域の見守りも強化する。

詳しくは 黒滝村ホームページ

https://www.vill.kurotaki.nara.jp/guide/child_support/